

事例 No.	101	人口規模	10万人以上	地域ブロック	東北	事業タイプ	その他	事業主体	地方公共団体
<b>事業名</b>	結婚対策事業								
<b>実施地方公共団体名</b>	鶴岡市(山形県)								
<b>特徴・ポイント</b>	結婚という極めて個人的なことに対し行政が積極的に主体的に関わって事業を展開している。								
<b>事業のねらいと内容</b>	<p>【ねらい】 結婚難に悩む独身男女に対し出会いの機会を提供し、結婚へと結びつける。また出会いに際してコミュニケーション能力の向上を目指しセミナーを実施し、出会ってからの交際能力を上げる。</p> <p>【内容】 ・結婚希望登録制度...独身男女が登録し、条件面であった者同士のお見合いを実施する。  ・男女出会い交流イベント...地域の特徴を活かした出会いの体験イベントを実施する。  ・セミナー...コミュニケーションの仕方や男女の会話スタイルの違いや女性心理を学び交際能力を上げる。</p>								
<b>導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)</b>	過疎化や少子化が驚くべきスピードで進行し、後継者不足に悩む家族の悲痛な思いもあって、当時の町長の政策的な判断で事業をはじめた。				<b>導入・実施に際して苦労した点</b>				
<b>事業の効果</b>	交流事業で目出度く結婚にいたったケースもあり、出会いの機会を提供するということは出来た。また町民の反応も好意的に捉えて頂いた。県内のテレビ局が県内初の試みであったことから、ドキュメンタリー番組を制作し全国に流した。その反響は大きく全国から問い合わせがあり、結婚対策事業の枠を超えて町のPRに繋がって観光面のみならず大きな宣伝効果があった。				<b>実施にあたってのネックをどのように解決したか</b>				
<b>事業のアピールをどのように行ったか</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報への掲載</li> <li>・テレビ、新聞、地元ミニコミ誌への取材協力による放送や掲載</li> <li>・テレビCMの自主制作と放送</li> <li>・ドキュメンタリー番組への協力と放送</li> <li>・制度のチラシ作成と配布</li> <li>・クイズミリオネアへの町長出場(100万円獲得)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知識 とりあえずいろいろな情報を集めたり先進地視察を行なって事業を始めた。また、事業の補助役として町民に交流サポーター(ボランティア)を依頼した。</li> <li>・人材面およびノウハウ 長野県の先進事例にならって登録制度を実施した。また、以前から行なっていたふるさと体験交流事業を結婚対策の事業に位置付けた。</li> <li>・予算の財源確保 当時の温海町にはふるさと創生基金がありこの基金を活用した。</li> <li>・民間団体との連携や他市町村との連携 連携の必要性が特になかった。</li> <li>・民間事業者からのクレーム その事業者と面談し、行政としての役割を理解していただいた。</li> </ul>				
<b>必要な協力先・実施主体とその確保策</b>	<p>(必要な協力先)  マスコミの協力は非常に重要。上手に活用できればPR効果は絶大で、大きな反響がある。</p> <p>(確保策)  取材に対し極力全面的な協力を惜みず、常に情報を頂き、情報提供をする。</p>								
<b>概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算</b>	1,939千円 <内訳> 一般会計: 39千円 その他: 1,900千円(具体的名称:人材育成基金)				<b>問い合わせ先</b>		所属部署: 鶴岡市温海庁舎総務課総務地域振興班 TEL: 0235-43-4611 (直通) FAX: 0235-43-4632		